

## 第2回御前崎市総合計画審議会 議事録

会議名	第2回 御前崎市総合計画審議会
開催日時	令和6年9月26日（木）午後3時00分～
開催場所	御前崎市役所3階301会議室
出席者	【委員】出席18名 欠席2名 【事務局】4名 【委託業者】2名

### 議事

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 諮問書提出
- 4 説明事項
  - (1)各会議の役割（検討事項）と審議会の開催予定と議題の想定
  - (2)現況整理・市民意識調査結果などについて
  - (3)第1回、第2回 市民ワーキング会議の結果
- 5 協議事項
  - (1)第3回御前崎市総合計画 基本構想（検討資料）について
- 6 その他
  - (1)次回の審議会について

### 【資料】

- (配布資料1) 各会議の役割（検討事項）と審議会の開催予定と議題の想定
- (配布資料2) 現況整理・市民意識調査結果などについて
- (配布資料3) 第1回、第2回 市民ワーキング会議の結果
- (配布資料4) 第3回御前崎市総合計画 基本構想（検討資料）について

## 1 開会

事務局	<p>それでは、定刻になりましたので、第2回御前崎市総合計画審議会を開催します。</p> <p>御前崎市総合計画審議会条例第6条第4項の「審議会の議事は、出席委員の過半数で決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。」の規定により、本日の審議会が成立しますことを報告します。</p> <p>開催にあたり、下村市長からご挨拶をお願いします。</p>
-----	---

## 2 あいさつ

市長	<p>下村です。大変お忙しい中、それぞれ皆様お仕事がある中、お時間をつくっていただきまして、第3次御前崎市総合計画の第2回審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>この第3次総合計画ですが、第2次総合計画が来年度の令和7年まで続きますが、その後、第3次総合計画が始まり、8年で計画を進めて参ります。</p> <p>皆様方におかれましては様々な立場からコメントをいただけますよう、どうぞよろしくをお願いします。現在の進行状況としましては、市民ワーキング会議が3回行われ、本日は第1回、第2回の報告がございます。またアンケート結果の報告もでございます。また職員ワーキング、策定委員会、策定部会も同時に進んでいる状況でございます。</p> <p>色々なところで説明している中で、使う言葉がありまして、「デザイン思考」という言葉を使っております。それはまず初めに、テーブルの上にたくさんを並べて、それをみんなで話し合いながら方向性を決めていこう考え方です。今はまずはテーブルの上に様々な素材を並べていくステップだと認識しています。その中で大変重要なことがございます。みんなで目標を持ちながら絞り込んでいく作業においては、本当に大事なプロセスになりますので、忌憚のない意見を交わしていくということが大事になります。これは言わない方がいいんじゃないかと、そのような気持ちにはならないで、是非自分の思ったことを発信していただけると、良い総合計画になっていくと思っております。</p> <p>本日は第3次総合計画の基本構想へのご意見を様々な立場から、たくさんのご意見をいただきましたら幸いです。本日はどうぞよろしくをお願いします。</p>
----	--

## 3 諮問書提出

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして諮問書を市長から会長へお渡しします。総合計画審議会条例の第2条に「審議会は、市長の諮問に応じ、御前崎市総合計画の策定に関する事項について調査し、審議する。」とありますとおり、市長から会長に諮問書をお渡しします。</p>
	<p>市長から会長に諮問書を渡した。</p>
事務局	<p>それでは、御前崎市総合計画審議会条例第6条第3項の規定により、議長を会長にお願いします。</p>

## 4 説明事項

(1)各会議の役割（検討事項）と審議会の開催予定と議題の想定

(2)現況整理・市民意識調査結果などについて

(3)第1回、第2回 市民ワーキング会議の結果

会長	<p>先ほど市長より諮問書をいただきましたので、皆さんからの意見等を頂ければと思いますので、よろしくお願ひします。それでは、次第4. 説明事項の（1）から（3）について関連事項がありますので一括で説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは資料1をご覧ください。各会議の役割（検討事項）と審議会の開催予定と議題の想定についてご説明させていただきます。一番左の表をご覧ください。赤字で書いてあります第3次御前崎市総合計画の目次構成の第3編基本計画、第2章基本目標別施策でございますが、第2次御前崎市総合計画では6つの基本目標で構成されていましたが、第3次御前崎市総合計画では防災・危機管理分野を独立させ7つの基本目標で構成しております。</p> <p>続いて右側の各会議の役割でございますが、5つの各会議に分かれており、本日の会議は一番左側の総合計画審議会でございますが、その他の策定委員会、策定部会、職員ワーキングは既に2回開催し、市民ワーキングについては今年度に計画しておりました全3回を実施済みです。</p> <p>本日の会議を開催するにあたり、事務局にて現状等の整理、施策評価のまとめを行い、その後、8月29日に第2回策定部会を行い施策体系の検討を行いました。修正を行った後9月18日に第2回の策定委員会を行い、基本構想の確認、意見出しを行いました。その後、資料の修正を行い本日の会議に至っております。</p> <p>今後でございますが、各会議の方を重ね、パブリックコメントの実施、基本構想の議会への提出という流れになります。以上で資料1の説明となります。</p>
委託業者	<p>それでは資料2をご覧ください。現況整理・市民意識調査についてご説明させていただきます。</p> <p>一枚めくっていただきまして、現況調査ということで主なものを抜粋して掲載させていただいております。まず総人口につきましては年々減少が続いており、令和5年度には30,288人まで減少しております。また、世帯当たり人員が2.5人ということでひとり暮らしの世帯も増えていることが分かります。</p> <p>年齢3区分別人口ですが、令和2年度では高齢化率は30%を超えた値になっております。</p> <p>人口動態につきましては転出が転入を上回っており、社会減が続いております。また、自然増減も同様に減少しております。</p> <p>合計特殊出生率ですが、令和4年度は1.27で静岡県平均よりも低くなっております。</p>

続いて産業についてですが、観光は平成29年より令和2年までは観光客は減少傾向にありましたが、令和4年にかけては増加の傾向があります。

農業につきましては農家数の減少が続いており、農地の利活用等を考えていく必要がある状況だと思っております。出荷額については増加傾向にあります。

財政力指数は0.94ということで全国平均は0.51ということを見ると、かなり高い数値となっておりますが、原子力発電所が稼働していない状況などから、財政運営の膠着化が進んでいることがグラフから示されております。効率の良い効果的な予算の使い方などを考え、第3次御前崎市総合計画を検討していく必要がございます。

続いて人口推計ですが、まち・ひと・しごと総合戦略で示されている2035年に人口3万人維持を目指していた人口ビジョンの目標値を約5千人下回っております。

市民意識調査ですが、毎年実施している意識調査とは別に総合計画策定実施と合わせて行われたアンケートとなります。こちら広報等で市民の方にご案内され、インターネット上で回答をしていただくという方法でアンケート調査を実施されております。紙を配っての調査は、今回は行っておりません。321票が今回の調査では集まっております。

回答者の属性としては60歳以上が34.3%で一番多く、次いで70歳代が23.4%、次いで50代の16.8%となっております。男女別にみますと男性53.9%、女性43.0%となっております。

今回、浜岡中学校、御前崎中学校、池新田高等学校を対象に中高生についてもアンケート調査を行っております。

住みやすさですが、市民の「住みやすい」、「どちらかという住みやすい」と回答した割合は53.9%、中高生においては69.8%が「住みやすい」、「どちらかという住みやすい」と回答しております。市民の「住みやすい」、「どちらかという住みやすい」割合は過半数を超えていますが、他市と比較すると低い傾向があります。

居住意向については市民の53.6%が「今後も住み続けたい」と回答しており、「引っ越ししたい」の9.3%を大きく上回っています。

年齢別をみますと、20、30代の若い方は「引っ越ししたい」という方は22.9%と比較的多いですが、40代50代については「住み続けたい」という方が少ない傾向があります。中高生につきましては就職、進学しても今の地域に住み続けたい、将来的には戻ってきたいという回答が40%近くあります。今は何も考えていないという方が38%で市外に出たい（戻るつもりがない）という回答が18.2%です。今は何も考えていないと回答した層に将来的には戻ってきたいというまちづくりを行うことが重要です。

P7をめくってください。「協働」による取組の必要性ですが、「必要だと思う」、「どちらかという必要である」の回答が80%を超えております。協働によるまちづくりで必要な行政取組ではありますが、「市民の意見や要望が反映される仕組みづくり

(見える化)」が 59.2%と最も多く、次いで「行政情報の公開・提供の充実」が 49.8%と続いています。

市民やまちづくりへの参加意向ですが、「機会があれば参加したい」が 66.4%と最も多く、「積極的に参加したい」が 7.5%であり、あわせて 73.9%が参加の意向を持っています。具体的にはアンケート調査やパブリックコメント、町内会活動に参加したいことが挙げられていました。

御前崎市の生活環境についてですが、肯定的に多かった項目は、市民では「身近に自然を感じることができる」が 84.1%、「自宅には心地のいい場所がある」が 82.6%、「自慢できる自然景観がある」が 73.5%となっております。中高生についても同様の結果となっております。一方、否定的な意見が多かったのは市民では、「公共交通機関の利便性が高い」が 88.2%、「楽しい時間を過ごせる遊びや趣味、娯楽施設がある」が 66.2%、「自慢できる都市景観がある」は 52.3%となっております。

暮らしの満足度ですが、中高生は「無回答」が 34.1%と多くなっておりませんが、それ以外では市民、中高生ともに「5点」が最も多くなっております。以下、市民では「6点」が 17.8%、「8点」が 17.1%、「7点」が 14.3%と続いております。無回答を除き、平均点を算出すると、市民は 5.85 点、中高生は 6.01 点となっております。

P9 ですが、日本全体を取り巻く社会・経済動向を抜粋しております。人口減少・少子高齢化は全国的に進んでおります。DX・デジタルを使った課題解決を推進していく取組を国が推進しております。また、能登の地震もありましたが災害リスクの上昇と安心安全への意識の高まりがあることを示されております。脱炭素、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーなど温暖化対策など経済活動と一緒に取り組む必要があり、循環経済への移行を進めて行くことが示されております。

以上、抜粋版ではございますがまとめさせていただきました。資料 2 の説明は以上です。

事務局

資料 3 の第 1 回、第 2 回の市民ワーキング結果についてご説明させていただきます。第 1 回目は 9 月 5 日に開催し、7 つの部会ではなく、9 つのグループに分かれて幅広い意見をいただくということで開催しました。「みんなで考える御前崎市の未来」をテーマにこれまで、いま、未来について付箋に書いていただきました。P2 をご覧ください。グループ 1 では「通勤・通学もラクラク」、「ひとがあふれる観光地」、「子どもたちが笑顔で通う学校」、「みんな生き生き笑顔」など子どもや観光についての意見が出ました。

P3 をご覧ください。グループ 2 では「教育・学べる環境が多い街」、「誰もがいきいきとした街」、「来たくなる街」、「働く場所を選べる街」といった観光や生活福祉の意見が出ました。

P4です。グループ3では「子どもが外に出たくなるまち」、「自然に自然とふれあえるまち」、「個性輝くにぎわうまち」といった子どもや賑わいについての意見が出ました。

P5をご覧ください。グループ4では「子育てしやすいまち」、「安心して暮らせるまち」、「土地や自然をいかす」、「にぎやか、人が集うまち」の意見が出ました。

続いてP6。グループ5では「近隣と共存するまち」、「コミュニティが盛んなまち」などの意見が出ました。

P7をご覧ください。グループ6は「安心できる暮らし」、「賑わい」、「人が集まる施設」の意見が出ました。

続いてP8です。グループ7は「仕事ができる場・お金をかせげる観光」、「市民にとって住みやすい」の意見が出ました。

P9です。グループ8は「みんなが住みやすい町」、「帰ってきたい町」の意見が出ました。

P10をご覧ください。グループ9は「市民・移住者と地域資源を繋げる・地域が高まる互助」の意見が出ました。たくさんの意見が出たためP11まで意見を記載しております。

続いて9月18日に開催しました第2回市民ワーキングのご報告をさせていただきます。第2回では7つの部会に分かれて、分野ごとの現在地、目指す未来、目指す未来のための必要な取組について、強み・良さ、弱み・課題を模造紙でまとめていただきました。

まず防災・危機管理部会ですが、P15をご覧ください。どんな未来があると良いかでは「災害による死亡者0」、「災害発生時に市民で助け合える街」、「自主防災会による一次避難所の運営」が挙げられました。未来を実現するために必要な取組では「地域で災害救助できる体制づくり」、「一次避難所開設訓練の実施」、「訓練内容の見直し」が挙げられました。

続きましてP17の環境・市民生活部会ですが、どんな未来があると良いかでは「耕作放棄地の有効利用」、「飲める井戸水」、「日照時間を活かしたソーラー草刈り機」が挙げられました。未来を実現するために必要な取組では「耕作放棄地に特産物を植える（レモン）」、「9時に外灯を消す」、「自家用焼却炉の普及」が挙げられました。

P19の都市基盤部会ですが、どんな未来があると良いかでは「人が集まる場所・施設の充実」、「車が無くても市内を移動することができる」、「災害があっても負けない道路が整備されている」が挙げられました。未来を実現するために必要な取組では「青地農地も含めて農転できる」、「公共交通を使う日を作る」、「目玉になる車輛の導入」が挙げられました。

続いて P21 の健康福祉部会です。どんな未来があると良いかでは「健康寿命が県内で一番長い市」、「多様な診療機関がある」、「子どもがにぎわう街 次世代につながる」が挙げられました。未来を実現するために必要な取組では「子育て世代に向けた PR (SNS 等) 住みたいと思ってもらおう」、「開業医の開業支援 (小児科、精神科など)」、「地域のコミュニティ活動を支援する (サロン、居場所、カフェなど)」が挙げられました。

P23 の経済産業部会です。どんな未来があると良いかでは「港の活性化・レジャーランド化」、「観光スポットの連携」、「市民が自分の強みを活かせる」が挙げられました。未来を実現するために必要な取組では「市民を株主とした会社設立」、「情報発信の強化・共有 (登録制度、Wi-Fi 整備)」、「コミュニティバス・タクシーの運行」が挙げられました。

P25 の教育部会です。どんな未来があると良いかでは「子ども一人一人を大切にす園や学校」、「安心して子育てできる町」、「文化の香りがする町」が挙げられました。未来を実現するために必要な取組では「個と集団のバランスがとれた教育」、「地域の人材活用 (高校生も)」、「グローバル化」が挙げられました。

P27 の経営管理部会です。どんな未来があると良いかでは「公共施設の有効活用と複合化」、「公共交通機関の充実」、「行政手続きが簡単にできるデジタル化」が挙げられました。未来を実現するために必要な取組では「時代にあった情報発信」、「スタートアップ企業の誘致」、「施設機能の統合 (小中一貫の検討)」が挙げられました。以上で第 2 回市民ワーキング会議の報告を終わります。

### 質疑応答

会長	皆さまご質問よろしくお願ひします。新しい取り組みとして、防災・危機管理の分野が入っております。賛成、反対あるかと思ひますのでご質問等よろしくお願ひします。
委員	防災・危機管理につきましては非常に重要だと思ひます。
会長	ご意見ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。
副会長	<p>賛成です。御前崎市は南海トラフ地震のリスクがあります。企業誘致や人を呼び込む際のネックになるかと思ひます。不安を少しでも取り除くためにも、こんな風に想定していると示すことは重要なことかと思ひます。</p> <p>私のところの学生が防災に興味を持っており、大学院で研究を行っておりますが、静岡県内の吉田町というところがありまして、津波避難所の先進的な取組を行っております。御前崎市もコミュニティ活動などと防災を結びつける取組を積極的に PR、発信していくことでより良いまちづくり、総合計画をつくっていくことができるかと思ひます。</p>
会長	ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。

委員	アンケート調査等を拝見させていただきました。本当に人口減少が進んでいる御前崎市ですが、逆に他の地域から移り住んでくる事例もいくつかございます。なぜ移り住んで来られたのかなどのアンケート調査などがあれば今後の人口対策において対策を講じることができるかと思えます。以上でございます。
会長	ありがとうございます。移り住んでくる理由を明確にするということですね。 少し防災・危機管理の話に戻りたいと思いますが、皆様、第3次御前崎市総合計画は防災・危機管理分野をいれて7つの基本目標でよろしいでしょうか。それでは基本目標は7つで、防災・危機管理を新たに入れて総合計画をつくっていくということでもよろしくをお願いします。
委員	資料2の市民意識調査ですが、総合計画策定のための調査ですか。
事務局	その通りでございます。
委員	今回は抜粋だということでもまだまだこの場には出ていない結果もあるかと思えます。基本目標は1から7ということですが、アンケートの質問の事項と基本目標はリンクしていますか。
事務局	リンクはしていません。
委員	市民意識調査は第2回、第3回とやっていく予定はありますか。
事務局	今、予定していますのは今回の1回のみです。
委員	市民意識調査なので質問事項、調査事項はリンクしていないと意識調査にならないと思うんですね。具体的なことを市民に問わないと総合計画策定のための意識調査にならない。私の希望だと第2回、第3回と意識調査実施を行わないと、言葉を選ばずに言いますと、参考にならないかなと思います。そんな風な印象を持ちます。
会長	ご意見として承るということでもよろしいでしょうか。他にございますか。 資料2の現況調査の中に水産業がない事が気になりますがいかがでしょうか。
委託業者	今回は抜粋版になります。現況調査の報告書がございますので共有させていただきます。
長谷川会長	分かりました。他にございますか。それでは次の議題に移らせていただきます。

## 5 協議事項

### (1)第3回御前崎市総合計画 基本構想（検討資料）について

事務局	<p>それでは資料4をご覧ください。第3次御前崎総合計画・基本構想についての検討資料でございます。大まかに作成したものになります。2ページめくっていただきますと、市民憲章、市章、市の花、市の木、マスコットキャラクター、ブランドロゴ、御前崎市歌を記載することを考えております。</p> <p>P4をご覧ください。P4は目次になります。次のページP5の第3編、第2章は先ほどもご説明させていただきましたが、7つの基本目標で施策を考えております。続きまして第4編は重点プロジェクトとしてまち・ひと・しごと創生総合戦略をここに入れ込む予定でございます。2枚めくってください。</p>
-----	---

第1章では総合計画策定の背景について記載させていただきます。次にP3ですが、第2章は総合計画の位置づけについて記載させていただきます。

続いてP4ですが、第3章総合計画の構成と期間ということで記載いたします。総合計画は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つで構成します。前回のご説明の際には地域計画が入っていましたが、変更がございます。地域計画も今回の総合計画と同時進行で作成いたしますが、今回の最上位に位置する総合計画の中には記載することはないだろうという判断をしまして、別冊でまとめるようにしました。

続きましてP5は計画期間を記載しており、計画期間は市長の任期に合わせて行い8年間の計画で行います。

P6をご覧ください。第4章総合計画策定における配慮事項ということで配慮すべき視点を記載しております。

続きましてP10をご覧ください。第5章ですが、これまでの取組の成果としまして、第2次御前崎市総合計画後期基本計画におけるこれまでの取組の成果について取りまとめており、基本目標ごとに整理しております。

P14をご覧ください。第1章将来都市像です。本日お配りした資料の中に参考資料がございます。基本理念につきましては市長へのヒアリングや市民ワーキング会議でできたキーワードを載せていただいております。その中でチャレンジ、教育、学べる環境、国際化、個性輝く、にぎわい創出、にぎやか、ビジネスチャンス、仕事、稼げる、関係人口、人が訪れるといった言葉をまとめて「挑戦」とします。次に「笑顔」、「まち全体で醸成」、「生き生き」、「外に出たくなる」、「横の連携」、「機運づくり」、「自然」、「安心して暮らせる」、「人が集う」、「共存」、「コミュニティが盛ん」、「地域資源を繋ぐ」、「互助」といった言葉をまとめて「共創」とします。すみませんがP14に戻っていただきます。御前崎市の目指すべきまちづくりの基本理念として「挑戦」と「共創」に現在しております。

P15をご覧ください。今後、将来都市像について決めていくこととなりますが、「共創」と「挑戦」という言葉を入れた将来都市像のフレーズを考えていきたいと思っております。

続きましてP16をご覧ください。第2章将来人口です。本市の人口の推移と年齢3区分別人口を記載しております。

P17です。これは目標人口になりますが、今後人口減少は続いていきますが、いかにその減少幅を縮めていくのが重要になってきます。目標人口は仮で28,000人としていますが、その目標人口もこれから決めていきたいと思っております。

続きましてP18をご覧ください。第3章将来都市像を実現するための基本目標になります。今年度は基本目標を決めていく予定になっております。現在は案として記載しております。

	足早でご説明させていただきましたが以上で資料4の説明とさせていただきます。
<b>質疑応答</b>	
会長	ありがとうございました。質問、ご意見ありましたらよろしくお願いします。
委員	事前に資料を送っていただきたいと思います。2週間前くらいには送っていただけないでしょうか。検討したくても全体を把握するのに時間がかかって、すぐに言葉として意見を出すのは難しいです。事務局は大変かもしれませんが、男女共同参画会議でも事前に資料は共有していただきました。是非、そうしていただきますようよろしくお願いします。
事務局	おっしゃる通りです。事前に資料を共有させていただきます。申し訳ございません。
市長	本日は全ての意見を集約するというよりも、こんな意見が出ていますよという共有の場になるかと思います。この後、また資料を見ていただいて、お気づきの点などございましたらフィードバックいただけますと幸いです。ご意見どうもありがとうございます。
会長	ありがとうございました。
委員	資料4の市長挨拶が空欄になっていますが、まず総合計画に懸ける市長の想いを書くべきだと思いますがどうですか。
市長	今回は検討資料ということで、最終的にこんな構成でいきますよ、という確認のために資料になるかと思います。
委託業者	そうですね。構成の確認としての検討資料になりますので、申し訳ございませんが、空欄となっています。
委員	全部見ても、ただただ良い事が書いてあるだけです。具体的なことは何もないです。これに対してご意見はありますかと言われても難しい。もっとビジョンならビジョンを書く、こんなまちをつくるということを書いていただかないと、議論するのが難しいです。
市長	<p>こういった場を活用して、どんなまちにしていくかという議論ができたらと思っております。特に大事なと思っていることは、今は基本構想をつくっている段階です。大まかなざっくりとした所を目指し、来年度は具体的な細かい所を議論していくことが重要かと思っております。</p> <p>自分が意見を言ってもいいのであれば、できるだけ市民ワーキングで出てきた問題点、例えば公共交通の課題であるとか、そういった具体的な問題を見据えておきながら、大きな目指すべき方向性に向けて検討を重ねるべきだと思っております。できるだけ今は情報を出していき、みんなで議論を進めていくことが必要だと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	反対だと思います。市長が持っている核というものがないと、拾い出すにも拾いだしなれないと思います。参考資料に市長ヒアリングとありますが、まず市長の考えを説明していただきたいと思います。

<p>市長</p>	<p>それでは説明させていただいてもよろしいでしょうか。きちんと説明する場面が少なかつたものですから。ここで説明させていただきます。参考資料の市長ヒアリングですが、ここに記載してある部分をより詳しくご説明させていただきます。</p> <p>御前崎市の状況として変化していく体制が必要だと思っております。時代も変化している中で御前崎市も変わっていかねばならないと思っております。必ず必要になってくることは、新しいことにチャレンジしていく姿勢です。まずスタンスとしてチャレンジしていく姿勢をまち全体が醸成していくことが重要なことだと考えています。そのような姿勢がないと現在の延長線上に向かっていってしまいます。カーブをぐっと変えていくためには、何かを変化させていく必要があります。その何かを皆さんと議論していきたいです。</p> <p>次に横の連携ですが、まず色々な情報をテーブルに載せて、みんなで議論しながら良い方向性を、分野を超えて見つけていくということが姿勢として大変重要です。</p> <p>御前崎市の持っているポテンシャルとして、国際化というのは重要だと思っております。御前崎市の農産物を海外に向けて販売する、発信していく、そういった姿勢はこれから必要な状況になってきます。国際化に必要なになってくるのは教育です。海外の人達とコミュニケーションを取る。自分の言いたいことを海外に向けて伝える。それらがインバウンドなどに繋がりますし、そういった人材を育成していくことが重要です。教育という下地ができることによって、賑わいの創出や観光、企業誘致にも繋がります。莫大な予算が無くてもできることがたくさんあります。ただ下地があることが重要です。関係人口についてですが、御前崎市の人口が減少していったとしても外からくる人口が増えることによって賑わいは保たれるはずだと思っております。日本全体の人口が減っている中、自然減に抗うのは難しい。ですので、いかに関係人口を増やしていくかをみんなで考える必要があります。まずは御前崎市内の企業同士のつながりなど、横の連携が必要になってきます。私もベンチャーを起業した経験がありますので分かることもありますが、小さな企業というのは横の繋がりができることによって強みを発揮することができる。関係人口を増やすためにはワーケーションなども重要な取組になります。</p> <p>市民ワーキングの中でも出てきましたが、公共交通の整備は必ずやらなければならない。高齢者も元気に過ごしていくということが大事です。防災もそうですが予算をかけなくてもできることはたくさんあると思います。ソフト面を促進していく時期です。</p> <p>以上、簡単ですけれどもご説明になります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。皆様ご意見等ございますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>市民ワーキングはどのように募集したのでしょうか。</p>

事務局	<p>市民の方はHPなど公募で募集し、14人の募集のところ、14人お集まりいただけました。専門人材ということで各分野の専門家を21名こちらからお声がけさせていただきました。あとは市の職員がファシリテーターとして7つの部会に2人ずつ参加しており、すべての参加者は49名となっております。</p>
委員	<p>幅広く意見を集めることが重要です。公募で集まっていたらご意見をいただけることは大事ですが、なるべく各分野、様々なところから意見を抽出していただきたいです。</p>
委員	<p>市民ワーキングで港の活性化としてレジャーランドにするというご意見がありましたが、現状はトイレもつくれないのが御前崎港の現実です。マリパークなどには無料のトイレなどがありますが、御前崎港は県の管理になるので市として何かをやるというのはなかなか難しいと思います。ワーキングで良いアイデア、言葉をいただいていると思いますが、どのように実現していくかこの先大変重要になってくるかと思っています。</p>
会長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
委員	<p>資料4のこれまでの成果ということですが、もっと正確に第2次総合計画の正確な課題等を取りまとめる必要があると思います。ここには成果を挙げていただいていると思いますが、もう少し課題の部分があるといいと思います。市民の皆様からも多様な意見を頂いておりますが、実際に実現可能なのかは審議会では議論をすべきだと思います。私自身はNPO法人を立ち上げて活動しておりますが、同じように御前崎市でチャレンジする人が増えてほしいと思っております。市民の側からするとチャレンジしたいという想いはありますが、制度的なことも把握しづらいし、計画等についてもどこまでマッチングしてこのまちで活動していくのか、分かりにくいところがあります。私たちも手探り状態ですが、理想だけを掲げても取り組みはできませんし、理想と現実を踏まえたうえでの取り組みが今後必要になるかと思っています。</p> <p>高校生たちも地域活動として想いを持って活動している方も多いたですが、続けられないのが現実で活動はどんどん縮小してしまっている。</p> <p>成果はもちろん大事だが予算編成など含めて課題等はたくさんあるかと思っていますので、この場では最低限共有していただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。大変貴重なご意見ありがとうございました。私も資料4を拝見しまして、成果がどうであったのかという記載が少ないように思います。課題の記載も欲しいです。第3次御前崎市総合計画をつくるためにも、課題をしっかり押さえない所です。</p>
委員	<p>私どもの専門分野ですと、どちらかというと、経済産業のところ期待されていると思います。資料4のP19と合わせて資料3のP23ですが、市民ワーキングの言葉と基本目標のKPIが今一つリンクしていないように思います。実際住んでいる方のご意見が市民ワーキングの結果だと思いますのでKPIはある程度合わせたほうが良いと思</p>

	<p>います。</p> <p>経済産業をいかに発展させるかという企業誘致とか働く場の提供だと思っております。経済産業の取組について基本構想の中でしっかりと記載することによって、より実効性の高い計画になると思います。人が賑わう、交流人口を増やすということはそれだけ産業に賑わいがあるということで、経済産業をどうするかといったステージが必要になりますので、ご検討よろしく申し上げます。</p>
会長	ありがとうございました
委員	<p>市長からもお話があったように人口減少に抗うのは難しいと思いますが、関係人口をつくりだすことが今後重要になってくるかと思えます。</p> <p>今回の総合計画の各会議ですが、年齢構成等はどうなっていますか。我々も社内で会議を行う際に若い世代から出る意見は新鮮なものがあります。今回の審議会の年齢も人口分布とは異なると思えます。審議会なので仕方がない部分があると思えますが、各会議の年齢構成を考慮しているか教えてください。</p>
事務局	市民ワーキングに参加の市民に関してはこの年代に来ていただきたいといった募集はしておりません。専門人材に関しても年齢については把握していないのが現状です。
委員	ありがとうございます。中高生のアンケートは取っているかと思いますが、これから担う若い世代の意見をもっと聞くことが重要だと思います。
委員	<p>市役所内の各部署の取組から子どもや若い世代の意見を集約することもできると思えます。小中学校では総合的な学習で環境についての取組を提案書という形で提出させていただいています。このように隠れた意見はたくさんあると思えます。</p> <p>中学校だったと思えますが、企画政策課さんと市の未来を考える取組を行なったとお聞きしています。大人が真剣に子どもの意見を聞いてくれるといった経験は大変貴重なものです。</p>
委員	小学校に訪れた際に市長にダイレクトに意見を言う「ひらめき提案箱」というものを拝見しました。子どもたちから意見をもらうやり方はたくさんあると思えます。
市長	浜岡東小学校からリクエストがありまして、意見を頂きに参る予定でございます。小中高生からまちづくりに関して良いアイデアがたくさん出てくると思えますので、是非、「ひらめき提案箱」のような取り組みは増やしていきたいです。
委員	<p>御前崎市の畑は耕作放棄地が増えているのが現実です。耕作放棄地が増えると水路含めて管理がされないのが、泥が水路に詰まったり、その地域の農業従事者全体に負担がかかってしまいます。</p> <p>耕作放棄地という課題をどのように解決するのか、総合計画のなかで話し合いができたらと思っています。</p>
会長	<p>最近では線状降水帯など桁外れの雨が降りますから、本当に管理などが大変でしょうね。</p> <p>事務局に確認したいのですが、この審議会が検討するものは何でしょうか。</p>

事務局	将来都市像、基本目標について今年度は決めていきたいと思っております。今は案として事務局で記載させていただいておりますが、ご意見等ございましたら、よろしく申し上げます。
事務局	<p>抜粋版ではない市民アンケート、現況調査の報告書、議事録につきましては皆さんに送付させていただき、そしてご意見を頂き、第3回目の審議会に向かうという流れでお願いできればと思います。</p> <p>基本目標につきましても今後、部会等で集約したものを皆さんに事前に見ていただくようにしたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
委員	第2次総合計画の検証をださないといけないと思います。
事務局	本日もたくさんの課題に対するご意見いただいておりますので、お出しさせていただきます。
会長	第2次総合計画の課題を出して頂くのとP15の将来都市像、基本目標の文言をご意見があれば検討するというのを皆様をお願いしたいです。どのようにご意見は集めますか。
事務局	資料等を送付させていただく際に企画政策課のメールアドレスを記載しておきます。メールかお電話でご意見いただければと思います。
会長	意見の提出はいつまでですか。
事務局	また調整をさせていただき、送付資料に期限を載せさせていただきます。
会長	すべての議題を終えましたので進行を事務局にお返しさせていただきます。ありがとうございました。
<b>6 その他</b>	
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>次回の審議会は11月の中旬を想定しています。</p>

以上